

2024 年度 国際資産評価士（事業価値評価）養成プログラム 募集要項

1. プログラム内容

（1）プログラムの目的

近年、IFRS（国際財務報告基準）の適用拡大や国内外での M&A の増加に伴い、合理的で客観的な事業価値を算定できる人材の需要が高まっています。わが国では投資アドバイスを目的とした証券分析に供する事業評価を履修する機会はあるものの、企業の情報開示や経営戦略の立案に役立つ事業価値評価を学ぶ機会は特定の研修プログラムに限られているのが現状です。このため、事業価値評価に対するニーズの高まりとともに、多くの人々が実務遂行のノウハウを身につけ、その能力を証明する仕組みに対する社会的ニーズも増加しています。

このような現状を踏まえ、本履修証明プログラムは、国際的に認知される資格取得に必要な事業価値評価の手法と実務を体系的かつ専門的に学ぶ機会を幅広く提供し、この分野で国際的に通用する人材を育成することを目的としており、わが国の資本市場及び産業の国際競争力の強化につながることが期待されます。事業価値評価には、財務や組織だけでなく、技術を含む幅広い経営ノウハウと洞察力が求められ、文理融合型のアプローチを強みとする京都大学経営管理大学院が本プログラムを実施する意義は非常に

大きいと言えます。

なお、本プログラムで使用する主な教材は、米国鑑定財団(The Appraisal Foundation) および国際評価基準審議会(IVSC: International Valuation Standards Council) が提唱する資格認定教育基準に基づき、米国鑑定士協会(ASA: American Society of Appraisers) が国際的に提供する事業価値評価(Business Valuation)の資格認定教育プログラムの教材を、ASA の日本における代表機関である一般社団法人日本資産評価士協会(JaSIA: Japanese Society of Independent Appraisers)との連携により、日本語で提供するものです。初期段階では、米国の教材を使用するため米国の事例が中心となりますが、教材開発の進行に伴い、適宜日本の事例を反映させた内容を追加していく予定です。

本プログラムの受講者には、JaSIA が監修・実施する修了試験の受験機会が与えられます。この試験に合格した方は、ASA の規定に従い、ASA 国際資産評価士(事業価値評価)の資格取得を申請することができます。

(2) コース概要と日程

■実施時間(合計 108 時間)

1 コース(講義・演習 18 時間+事例研究 6 時間+修了試験 3 時間) × 4

■講義・演習(計 72 時間)の概要と日程

ASA がオンデマンドで英語にて提供している講義を日本語化し、オンラインにて提供します。あわせて、日本人ファシリテーターが日本語で補足・解説等を行います。病気等やむを得ず欠席する受講生へは、録画ビデオの視聴による履修を認める場合があります。

【概要と日程】

コースⅠ(BV201)	事業価値入門 マーケットアプローチ ・事業評価の概要・基礎理論、及びマーケットアプローチ（取引事例法）の実務の履修 開講日：9月24日、25日、26日…（各日 8:45－16:30）
コースⅡ(BV202)	事業評価入門 収益法 ・DCF法を中心とした収益還元法による事業評価実務の習得 開講日：11月25日、26日、27日（各日 8:45－16:30）
コースⅢ(BV203)	積算（アセットアプローチ）による評価、割引及びプレミアム ・企業の保有する種々の資産価値の積算による事業評価手法（アセットアプローチ）の実務の修得 開講日：1月20日、21日、22日（各日 8:45－16:30）
コースⅣ(BV204)	事業評価における上級トピック ・事業評価が使用される種々の使用目的の理解 開講日：3月17日、18日、19日（各日 8:45－16:30）

（注）上記の日程は、教員の都合、教材準備の都合等により、変更される場合があります。

【担当】

●プログラム統括責任者

大庭 哲治 京都大学大学院 経営管理研究部/工学研究科 教授

●ファシリテーター

若山 和夫 一般社団法人 日本資産評価士協会 専務代表理事

●教材監修者

Raymond Rath ASA（米国鑑定士協会）上級認定資産評価士

●プログラム運営委員会委員

小林 潔司 京都大学大学院 経営管理研究部 特任教授、京都大学 名誉教授

藤木 修 京都大学大学院 経営管理研究部 客員教授

村上 啓二 立命館大学大学院 経営管理研究科 教授

●協力団体

一般社団法人 日本資産評価士協会（JaSIA）

一般社団法人 京都ビジネスリサーチセンター（KBRC）

■事例研究（計 24 時間）の概要と日程

ASA の講習にて使用されている教材を参考に教材を作成し、日本人インストラクターの指導の下、対面によるグループディスカッション形式で実施します。一部米国人インストラクターによるライブ・リモートセッションを予定しています。

コースⅠ	開催日：2024 年 9 月 27 日（8：45－16:30）
コースⅡ	開催日：2024 年 11 月 29 日（8：45－16:30）
コースⅢ	開催日：2024 年 1 月 24 日（8：45－16:30）
コースⅣ	開催日：2024 年 3 月 21 日（8：45－16:30）

開催場所：京都市内（検討中）

（注）上記の日程は、教員の都合、教材準備の都合等により、変更される場合があります

す。

■修了試験（計 12 時間）の概要と日程

各コースとも、事例研究実施日より 1 週間以内にオンラインで受験してください。ASA が提供する試験（1 コース 3 時間）を日本語で受けることができます。本プログラムにおいて、合格することが要求されるわけではありませんが、試験の成績は、本プログラム履修証明の可否の判断材料にされます。

コースⅠ	受験期限：2024 年 10 月 4 日 24 時
コースⅡ	受験期限：2024 年 12 月 6 日 24 時
コースⅢ	受験期限：2024 年 1 月 31 日 24 時
コースⅣ	受験期限：2024 年 3 月 28 日 24 時

2. 出願資格

大学を卒業した方又は大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた 22 歳以上の者で、受講者選定審査に合格した者。願書及び推薦書の提出を必須とします。事業価値評価、M&A 支援、企業再生支援、企業経営分析等の専門職を目指す方、不動産鑑定士等として鑑定の業務に従事されている方、その他事業価値評価に関わるビジネスに関心のある方なら、どなたでも出願が可能です。

3. 募集定員

10 名（上限 30 名）

4. 修了要件

講義・演習及び事例研究（計 96 時間）をすべて受講し、修了試験（計 12 時間）をすべて受験（合格することがのぞましい）した者について、担当講師等から構成される審査委員会が、演習及び事例研究並びに修了試験の結果を総合的に審査のうえ、本プログラムの履修証明の可否を決定します。

5. 受講料

京都大学学生、その他、本プログラム運営委員会が相当と認めた者：220,000 円（税込）

上記以外の者：440,000 円（税込）

6. 応募方法等

① 出願書類の作成

「7. 出願書類」に記載の URL より書式をダウンロードし、ご作成ください。詳細は「7. 出願書類」をご確認ください。

② 出願方法

メールに書類添付し、下記連絡先に送信してください。

E-mail：bvep_office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

③ 募集期間

2024 年 8 月 26 日（月）～ 2024 年 9 月 11 日（水）9 時

7. 出願書類

① 願書

② 履歴書

③ 志望動機・修了後の計画調書

①～③の書式を下記 URL よりダウンロードし、ご作成ください。

<https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/public/bzZFgshb34b16gEEz-cfVENfQqmj7xWJC1UZFg5kGud3>

④ 最終学歴を証明できるもの（大学・大学院の卒業証書や大学院の在学証明書の写しなど）

⑤ 推薦書（所属先の上司・教員のかた等によるもの）

8. 受講資格者の決定

国際資産評価士（事業価値評価）養成プログラム運営委員会で厳正に審査し、決定します。

9. 受講資格審査の結果通知

順次審査を行いメールで通知します。

10. 受講費用の納入期間

2024 年 9 月 9 日（月）～2024 年 9 月 17 日（水）

※振込先等の詳細は、受講資格審査の決定通知とともにお知らせいたします。

11. 履修証明書の交付等

プログラムの修了者には、学校教育法の規定に基づくプログラムであること及びその名称等を示した履修証明書を交付します。

【問い合わせ先】

京都大学経営管理大学院 国際資産評価士（事業価値評価）養成プログラム運営事務局

TEL：075-753-3496（平日 9:30-16:30、休日・祝日・年末年始を除く）

E-mail: bvep_office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

（ASA の資格取得要件に関して）

一般社団法人 日本資産評価士協会（JaSIA）

TEL：03-5350-8808

E-mail: info@jasia-asa.org

【日本資産評価士協会（JaSIA）について】

日本資産評価士協会は、グローバル化、IFRS の導入など、新時代を迎えた我が国の会計・企業財務実務のニーズに対応する総合的な資産評価のインフラ創設に向け、教育事業、研究、提言、その他啓蒙活動の実施を目的として、不動産鑑定士、公認会計士、弁理士、学会等の有識者が中心となり、2010 年に設立された非営利の社団法人です。その主要事業として、米国 ASA との業務協定により、日本での ASA の資格・教育制度の普及を独占的に担っており、動産、機械・設備、事業評価（知的財産を含む）の資産評価士育成のため、日本語環境でのトレーニング・試験・ライセンス供与・会員サービス等

の提供を行っています。

【米国鑑定士協会（ASA）について】

ASA は米国の首都ワシントン D.C に本部を持ち、1936 年に創設された米国で最も古い歴史を有する鑑定教育・資格の業界自主団体です。1987 年の米国鑑定財団（The Appraisal Foundation/TAF）の創設メンバー（8 団体）を主導。現在、不動産、動産、機械・設備、事業（含む知財）、ヘルスケア等の専門分野での評価教育と資格認定を提供しています。動産、機械・設備、事業評価の分野においては、高い権威と信用力を誇っており、北米に加え、欧州、南米、アフリカ、中国、その他アジア諸国、オセアニア等にて広く受け入れられ、これらの地域における評価のスタンダードとなっています。